

2014年(平成26年)8月12日(火曜日)

山の中の電信線に驚き

増毛山道 児童ら巡る

【増毛】江戸時代末期に開かれた「増毛山道」を、小学生らが歩く夏休みミニツアーが9日、行われた。

(野崎正夫)



増毛山道を歩く夏休みミニツアーの参加者

山道の復元開始5周年を記念し、留萌振興局やNPO法人増毛山道の会などが企画。留萌などの小学生35年生と保護者20人が参加した。

参加者は出発に先立ち、道留萌合同庁舎で、山道が安政4年(1857年)、場所請負人の商人、伊達林右衛門によって開かれ、漁場の行き来や手紙の輸送、電信線の設置などに使われたことなどを学習した。

続いて、バスで山道の途中まで行き、約2・5キロのコースを往復した。途中、電信線の電柱や武好駅通の跡、水準点などを同会会員の説明聞きながら見学した。札幌の小学生、松谷憲太郎君(10)は「山の中に電信線があったとか、いろんな歴史が分かって面白かった」と話した。